

雜載

家之姻與其家門號裏松亞相後小松上皇后資子道義足利義滿夫
人康子義持夫人榮子共重光姊妹

〔北山抄〕六下宣旨事

補女御事更衣者尙侍宣下所司總禁色仰辨官作官符同外戚公卿以下奏慶

〔三代實錄清和〕貞觀二年十月廿九日乙巳正三位行中納言橘朝臣岑繼薨岑繼者贈太政大臣正一位清友朝臣孫而右大臣贈從一位氏公朝臣之長子也氏公朝臣是仁明天皇之外舅岑繼所生是仁

明天皇之乳母故天皇龍潛之日陪於藩邸稍蒙寵幸岑繼身長六尺餘腰圍差大爲性寬緩少年愚鈍

不好文書天皇見其無才歎曰岑繼也是大臣之孫帝之外家若有才識公卿之位庶幾可企何其不讀

書之甚哉岑繼竊聞慙恐於心乃改節勵精從師受學書傳略通意旨

〔大鏡右大臣師輔〕元方民部卿のむまご村上皇子まうけの君にておはするころみかどの御庚

申せさせ給ふにこの民部卿まゐり給へるさらなり九條殿藤原師輔さぶらはせ給ひて人々あま

たさぶらひてどうたせ給ふついでに冷泉院のはらまれおはしましたるほせにてさらぬだに

よひといかゞとおもひ申たるに九條殿こよひのすぐろくつかうまつらんとおほせらるゝま

まにこのはらまれ給へるみこをどこにおはすべくはでう六いでこととらたせ給ひけるにた

だ一どにいでくるものかありとある人めを見かはしてかんじもてはやし給ひわが御みづか

らもいみじとおぼしたりけるにこの民部卿のけしきいとあしうなりていろもあをうこそな

りたりけれさてのちにれいにいでましてその夜やがてむねにくぎはうちてきとこそたま

ひけれ

〔悪管抄四〕九條殿藤原師輔のめでたき願力にこたへて冷泉院いできておはしませと天曆上村第

一の皇子廣平親王の外祖にて元方大納言ありけるがこの安子上村中宮におされまゐらせて

冷泉圓融ちと出き給て廣平親王はかひなき事にてありけるを思死にして惡靈とちりにける